

久留米広域市町村圏事務組合告示第5号

令和7年第2回久留米広域市町村圏事務組合議会定例会において、下記の決算が認定されたので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条の規定により準用する同法第233条第6項の規定により、当該決算の要領を公表する。

令和7年8月22日

久留米広域市町村圏事務組合長 原 口 新 五

記

1 決算

- (1) 令和6年度久留米広域市町村圏事務組合
一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和6年度久留米広域市町村圏事務組合
小児救急医療支援事業特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和6年度久留米広域市町村圏事務組合
広域消防特別会計歳入歳出決算

2 議決年月日

令和7年8月21日（木）

令和6年度久留米広域市町村圏事務組合 各会計決算の要領

1 一般会計

当会計は、組合議会及び総務事務にかかる会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、16,862 千円であり、予算現額に対する収入率は 70.3%となっている。
歳入の主なものは、構成市町負担金及び前年度繰越金である。

款	項	金額(円)
1負担金及び負担金		13,200,000
	1負担金	13,200,000
2使用料及び手数料		0
	1手数料	0
3繰越金		3,661,523
	1繰越金	3,661,523
4諸収入		0
	1組合預金利子	0
	2雑入	0
歳入合計		16,861,523

(2) 歳出

歳出決算額は、13,418 千円であり、予算現額に対する執行率は 55.9%となっている。
歳出の主なものは、議員報酬、役員給料、議案書等の印刷製本費及び事務局派遣職員に係る人件費負担金などの経常的経費である。

款	項	金額(円)
1議会費		1,820,758
	1議会費	1,820,758
2総務費		11,597,566
	1総務管理費	11,420,066
	2文書広報費	27,500
	3公平委員会費	0
	4監査委員費	150,000
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		13,418,324

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 3,443 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区 分	金 額 (円)
歳入決算額	16,861,523
歳出決算額	13,418,324
歳入歳出差引額	3,443,199
翌年度へ繰り越すべき財源	0
実質収支額	3,443,199

2 小児救急医療支援事業特別会計

当会計は、次代を担う子ども達を、当圏域で安心して生み育てることができる環境づくりの一環として、聖マリア病院内に設置している「久留米広域小児救急センター」の運営支援にかかる会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、34,418千円であり、予算現額に対する収入率は100.2%となっている。歳入の内訳は、構成市町負担金、近隣市町協力金、県補助金及び前年度繰越金である。

款	項	金額(円)
1 分担金及び負担金		26,441,000
	1 負担金	26,441,000
2 県支出金		6,402,000
	1 県補助金	6,402,000
3 繰越金		1,575,055
	1 繰越金	1,575,055
4 諸収入		0
	1 組合預金利子	0
	2 雑入	0
歳入合計		34,418,055

(2) 歳出

歳出決算額は、32,618千円であり、予算現額に対する執行率は95.0%となっている。歳出の主なものは、久留米広域小児救急センターの運営経費に対する久留米医師会及び聖マリア病院への補助金並びに小児科医研修事業に対する久留米大学への補助金である。

款	項	金額(円)
1 小児救急運営費		32,617,972
	1 小児救急運営費	32,617,972
2 予備費		0
	1 予備費	0
歳出合計		32,617,972

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 1,800 千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区 分	金 額 (円)
歳入決算額	34,418,055
歳出決算額	32,617,972
歳入歳出差引額	1,800,083
翌年度へ繰り越すべき財源	0
実質収支額	1,800,083

3 広域消防特別会計

当会計は、「管内住民のやすらぎを育む安全で安心な地域社会の確立」を基本理念に、広域消防行政を展開するための会計である。

(1) 歳入

歳入決算額は、5,279,730千円であり、予算現額に対する収入率は96.4%となっている。

歳入の主なものは、構成市町負担金及び筑後地域消防通信指令事務協議会負担金で、歳入決算額の83.7%を占めている。

款	項	金額(円)
1負担金及び負担金		4,418,005,333
	1負担金	4,418,005,333
2使用料及び手数料		3,959,751
	1使用料	614,091
	2手数料	3,345,660
3国庫支出金		1,920,600
	1国庫補助金	1,920,600
4県支出金		0
	1県補助金	0
5財産収入		9,970,395
	1財産売払収入	9,967,389
	2財産運用収入	3,006
6繰入金		70,000,000
	1基金繰入金	70,000,000
7繰越金		397,931,582
	1繰越金	397,931,582
8諸収入		23,642,991
	1組合預金利子	79,470
	2雑入	23,563,521
9組合債		354,300,000
	1組合債	354,300,000
歳入合計		5,279,730,652

(2) 歳出

歳出決算額は、5,182,770千円であり、予算現額に対する執行率は94.7%となっている。

歳出の主なものは、消防職員の人件費、新庁舎建設工事費や指令システム等全体更新などの大規模な施設整備費、消防車両や資機材の計画的な更新に係る経費、筑後地域消防指令センターの運営経費及び救急救命士養成などの職員教育に係る経費である。

款	項	金額(円)
1消防費		4,713,538,048
	1消防費	4,713,538,048
2公債費		469,232,002
	1公債費	469,232,002
3予備費		0
	1予備費	0
歳出合計		5,182,770,050

(3) 翌年度繰越金

歳入決算額から歳出決算額を差し引いた剰余額 96,960千円は翌年度に繰り越すこととしている。

区分	金額(円)
歳入決算額	5,279,730,652
歳出決算額	5,182,770,050
歳入歳出差引額	96,960,602
翌年度へ繰り越すべき財源	2,496,680
実質収支額	94,463,922